

●香川県告示第525号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があったので、同条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

平成25年12月6日

香川県知事 浜 田 恵 造

1 申請の概要

(1) 申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名

東京都中央区築地6丁目4番10号

テーブルマーク株式会社 代表取締役社長 日野 三代春

(2) 事業場の所在地及び名称

三豊市山本町神田3542-1

テーブルマーク株式会社 山本工場

(3) 特定施設に関する事項

設置しようとする特定施設

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する原料処理施設	
能	力	1kg/8時間 2基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可日	
	工事完成予定年月日	工事着手後2週間	
	使用開始予定年月日	完成日	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続8時間/日	
排 出 さ れ る 汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.0~7.5	6.0~7.5
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	150	400
	化学的酸素要求量 (mg/L)	140	200
	浮遊物質質量 (mg/L)	150	180
	窒素含有量 (mg/L)	15	40
	りん含有量 (mg/L)	5	10
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	-	-
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		8	8

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	576L/h 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可日	
	工事完成予定年月日	工事着手後2週間	
	使用開始予定年月日	完成日	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続8時間/日	
排 出 さ	項 目	通 常	最 大

れる汚 水等の 汚染状 態	水素イオン濃度	6.0~7.5	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	240	400
	化学的酸素要求量 (mg/L)	150	200
	浮遊物質質量 (mg/L)	150	180
	窒素含有量 (mg/L)	15	40
	りん含有量 (mg/L)	5	10
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	-	-
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		5	5

変更しようとする特定施設

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する湯煮施設	
能	力	150kg/回 5基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可日	
	工事完成予定年月日	許可日	
	使用開始予定年月日	完成日	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		断続16時間/日	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.0~7.5	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	(変更前) 450	(変更前) 530
		(変更後) 570	(変更後) 720
	化学的酸素要求量 (mg/L)	(変更前) 140	(変更前) 190
		(変更後) 227	(変更後) 280
	浮遊物質質量 (mg/L)	(変更前) 180	(変更前) 220
		(変更後) 225	(変更後) 250
窒素含有量 (mg/L)	15	40	
りん含有量 (mg/L)	5	10	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	(変更前) 15	(変更前) 20	
	(変更後) 40	(変更後) 50	
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		(変更前) 40	(変更前) 50
		(変更後) 53	(変更後) 65

他に既設特定施設を11基移設する。

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

種	類	排水処理施設
能	力	750m ³ /日
汚水等の処理方式		流動担体処理方式
工 期 等	工事着手予定年月日	許可日
	工事完成予定年月日	着手後2週間
	使用開始予定年月日	完成日
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続24時間使用

処理前 及び処 理後の 汚水等 の汚染 状態	項 目	処 理 前		処 理 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.0~8.0	5.8~8.6	6.0~8.0	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	850	950	25	30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	650	750	30	40
	浮遊物質 (mg/L)	550	1,000	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	15	40	5	20
	りん含有量 (mg/L)	5	10	2	3
	ノルマルヘキサン抽出 物質含有量 (mg/L)	(変更前) 20 (変更後) 30	(変更前) 30 (変更後) 40	5	6
	大腸菌群数 (個/cm ³)	-	-	2,000	3,000
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		660	750	660	750

油分及び浮遊物質の除去率を上げるため、既設の回転円板装置を撤去し、薬液注入設備付き高速加圧浮上装置を導入する。

(5) 排出水の汚染状態及び量

排出水 の汚染 状態	区 分 項 目	第 1 排 水 口	
		通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	25	30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	30	40
	浮遊物質 (mg/L)	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	5	20
	りん含有量 (mg/L)	2	3
	ノルマルヘキサン抽出物質含有 量 (mg/L)	5	6
	大腸菌群数 (個/cm ³)	2,000	3,000
排出水の量 (m ³ /日)		705	798

他に排水口が6箇所ある。

(備考) 今回新たに特定施設の設置及び使用の方法の変更を行うため、特定施設からの汚水の汚濁負荷量は増加するが、一部既設特定施設を廃止するとともに、排水処理施設の処理能力を改良するため、排出水の汚染状態及び量並びに汚濁負荷量に変更はない。

2 縦覧の期間及び場所

(1) 期間

平成25年12月6日から同月27日まで

(2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

三豊市環境部環境衛生課